



野鳥観察をしませんか

秋風が吹き始めると、夏鳥が姿を消し、北から冬鳥がやってきます。

森の図書館の周辺でも、ちょっと歩いただけで、様々な野鳥が見られます。運が良ければ古墳公園ではキセキレイやツグミが、運河ではカワセミやコガモが美しい姿を見せてくれます。

あの鳥は何という名前だろう…と思ったときに開くのが、『日本の野鳥』です。

メスや幼鳥、冬羽の写真もありますので、種類を特定しやすいです。また、行動・鳴き声・見た目の特徴・似ている鳥との違いについても詳しく記載されています。

『日本の野鳥』 叶内拓哉／写真・解説 山と溪谷社〔488.03〕

『スズメ つかず・はなれず・二千年』 三上 修／著 岩波書店〔488.9〕

『極楽鳥全種 世界でいちばん美しい鳥』 ティム・レイマン／著

日経 NATIONAL GEOGRAPHIC 社〔488.9〕

『デジタルカメラによる野鳥の撮影テクニック』 中野耕志／著 誠文堂新光社〔746〕



食欲の秋

と、言っても食べるだけでなく、読んでみては…？今ほど、グルメ情報がなかった時代に、作家が技巧を凝らして表現する味は、いたく鮮烈な印象を残します。読むだけで、生つばがわく「食」エッセーの名作をご紹介します。



『日本文学 100年の名作』第3巻
三月の第四日曜より「茶粥の記」
矢田津世子／著 新潮文庫
請求記号：913.6



『食卓の情景』
池波正太郎／著 新潮文庫
請求記号：イ

主人公にはなんの美食体験も無いが、読んだり聞いたりして、味について周囲に吹聴し、たいへんな食通と思われる。話の中の食は、なぜかときには、実物を超えるものがあります。

とてもわかりやすく、美しく、すばらしいエッセー集です。文章からその街、そのお店、その料理、そして、人々の情景がうかんできます。この季節にぴったりの本です。

「想いをこめて…」

お世話になった人へ、また、大切な人へ。感謝の気持ちや日頃の思いを、絵手紙で伝えてみてはいかがでしょうか？

『二十四節気を描く
歳時記カット集』
岡田潤／著 日貿出版社
請求記号：727

色彩あふれる日本の季節が楽しめて、草花を中心に和紙で描いた墨彩画カット集です。一年を通じて季節を感じながら楽しめる一冊です。



一般コーナー
今後の展示予定

- 10月 食欲の秋（パンとコーヒー）
芸術の秋
- 11月 野鳥の本
- 12月 年末年始おたすけ本
（片付け・そうじ・料理）